

10:16 捕囚から帰って来た人々は、その提案どおりにした。祭司エズラは、彼らの一族のために、一族のかしらのある者たちをみな、名ざして選び出した。こうして、彼らはこのことを調べるために、第十の月の一日に会議を始め、

10:17 第一の月の一日までに、外国の女をめとった男たちについて、みな調べ終えた。

10:18 祭司の子らのうちで、外国の女をめとった者がわかったが、それはエホツァダクの子ヨシュアの子たちと、その兄弟たちのうちから、マアセヤ、エリエゼル、ヤリブ、ゲダルヤであった。

10:19 彼らはその妻を出すという誓いをして、彼らの罪過のために、雄羊一頭を罪過のためのいけにえとしてささげた。

10:20 イメル族のうちでは、ハナニとゼバデヤ。

10:21 ハリム族のうちでは、マアセヤ、エリヤ、シェマヤ、エヒエル、ウジヤ。

10:22 パシュフル族のうちでは、エルヨエナイ、マアセヤ、イシュマエル、ネタヌエル、エホザバデ、エルアサ。

10:23 レビ人のうちでは、エホザバデ、シムイ、ケラヤ・・すなわちケリタ・・、ペタヘヤ、ユダ、エリエゼル。

10:24 歌うたいのうちでは、エルヤシブ。門衛のうちでは、シャルム、テレム、ウリ。

10:25 一般のイスラエル人のうち、パルオシュ族のうちでは、ラムヤ、イジヤ、マルキヤ、ミヤミン、エルアザル、マルキヤ、ベナヤ。

10:26 エラム族のうちでは、マタヌヤ、ゼカ

リヤ、エヒエル、アブディ、エレモテ、エリヤ。

10:27 ザト族のうちでは、エルヨエナイ、エルヤシブ、マタヌヤ、エレモテ、ザバデ、アジザ。

10:28 ベバイ族のうちでは、ヨハナン、ハナヌヤ、ザバイ、アテライ。

10:29 バニ族のうちでは、メシュラム、マルク、アダヤ、ヤシュブ、シェアル、ラモテ。

10:30 パハテ・モアブ族のうちでは、アデナ、ケラル、ベナヤ、マアセヤ、マタヌヤ、ベツアルエル、ビヌイ、マナセ。

10:31 ハリム族のうちでは、エリエゼル、イシヤ、マルキヤ、シェマヤ、シメオン、

10:32 ベニヤミン、マルク、シェマルヤ。

10:33 ハシュム族のうちでは、マテナイ、マタタ、ザバデ、エリフェレテ、エレマイ、マナセ、シムイ。

10:34 バニ族のうちでは、マアダイ、アムラム、ウエル、

10:35 ベナヤ、ベデヤ、ケルフ、

10:36 ワヌヤ、メレモテ、エルヤシブ、

10:37 マタヌヤ、マテナイ、ヤアサイ。

10:38 ビヌイ族のうちでは、シムイ、

10:39 シェレムヤ、ナタン、アダヤ、

10:40 マクナデバイ、シャシャイ、シャライ、

10:41 アザルエル、シェレムヤ、シェマルヤ、

10:42 シャルム、アマルヤ、ヨセフ。

10:43 ネボ族のうちでは、エイエル、マティテヤ、ザバデ、ゼビナ、ヤダイ、ヨエル、ベナヤ。

10:44 これらの者はみな、外国の女をめとった者である。彼らの妻たちのうちには、すでに子どもを産んだ者もいた。

神殿の再建はすばらしい喜びですが、その祝福も神様がみわざを行ってこそです。そこで、祭司が異邦の女性を結婚することとは、異教の宗教に妥協していることを表しますから、それを正さなければなりません。エズラ記の最後がこの記事であることは重要です。

本当の喜びは主のみこころにかなっているということであると知りましょう。見えるところが整うなら、それ以上にみこころを行う当面で整えていきましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

